

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念の共有と実践ができていない。	全職員が、利用者、家族、地域の方に対して、理念の説明ができるようになる。	毎朝の朝礼、毎月のミーティング、研修会等で、理念の確認・周知を行う。	3ヶ月
2	2,3,29	地域とのつきあい・協働、地域貢献が進んでいない。	地域の方々に広く認知頂き、毎月交流を行うことができる。	グループホームの職員が、定期的に清掃活動を実施する。事業所の行事や防災訓練に地域の方に参加して頂く。また、地域の行事にも利用者・職員で参加させて頂けるようにしていく。地域の方向けの、認知症に関する勉強会を開催する。	6ヶ月
3	6,7,8,13	職員研修など、職員を育てる取り組みが不十分である。	身体拘束や虐待の防止など、職員一人一人がその意義や必要性を理解し、介護の実践ができる。	それぞれのマニュアルを整備しつつ、毎月の研修会を充実させ、介護の知識、技術の向上を図る。また、外部研修の参加も促していく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。